

平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）
■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階
■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555
■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp
■広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>
ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No. 189

2016年
9月号
(9月1日)

発行責任者
藤本講治

――目次――

- 1頁：9月の活動予定（9/1現在）
2頁：平和運動センター第9回幹事会を開催（8月23日）
戦争法廃止！安倍政権退陣！8・19行動
3頁：地区労だより（府中地区労組会議）
「被爆71周年原水爆禁止世界大会」開催
6頁：四国電力「伊方原発3号機再稼働」抗議の座り込み（8月12日）
7頁：「核兵器先制不使用宣言」について申入れを行う（8月18日）
世界人権宣言県実行委員会が総会・学習会を開く（8月20日）
8頁：新聞に見る「ヒロシマ」（7/30～8/25）
9頁：ご案内〔「ストップ！戦争法」9月街頭行動〕
〔9.22「さようなら原発 さようなら戦争」大集会〕
〔「アジア・アフリカ支援米」稲刈り〕
〔2016 部落解放・人権政策の確立を求める第47回広島県民集会〕

【9月の活動予定】

- 1日(木)17:30 高校生平和大使・高校生1万人署名活動実行委員会サポーター会議＝広教組会議室
2日(金)13:30 原爆ドーム世界遺産登録20周年記念行事実行委員会小委員会＝ワークピア広島
3日(土)13:30 広島県農業協同組合労働組合連合会第45回定期大会＝庄原農協本店
9日(金)13:00 全水道中国地本第90回定期大会＝呉市
10日(土)13:00 被爆二世相談日＝平和運動センター事務所
16日(金)18:30 日朝友好広島県民の会第2回幹事会＝広島朝鮮会館
19日(月)14:00 「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」街頭行動＝広島市・本通り
21日(水)～22日 自治労広島県本部第100回定期大会＝広島JAビル
22日(木)13:30 9.22 さようなら原発 さようなら戦争大集会＝東京・代々木公園
23日(金)17:00 広島県原水禁9月常任理事会＝自治労会館
18:30 平和運動センター第10回常幹・第5回幹事会・地区労代表者会議＝自治労会館

24日(土) 10:30 「アジア・アフリカ支援米」稲刈り＝安芸高田市向原町
25日(日)10:00 第47回部落解放・人権政策の確立を求める広島県民集会＝福山市人権交流センター
16:30 部落解放広島県共闘会議第3回幹事会＝福山市人権交流センター
26日(月)～27日(火) 平和フォーラム各都道府県組織・中央団体責任者会議＝熱海市
29日(木)18:00 憲法を守る広島県民会議2017年度総会＝自治労会館

平和運動センター第9回常任幹事会を開催(8月23日)

＝10月24日に平和運動センター第22回総会を開催します＝

8月23日、平和運動センター事務所において第9回常任幹事会を開催しました。開会にあたり佐古議長は「先の原水禁大会、構成組織の皆さんのご協力が無事、大会を終えることができた。その直後には伊方原発3号機の再稼働が強行された。引き続き、核廃絶・脱原発の運動を緩めることなく取り組まなければならない」とあいさつしました。

会議では、被爆71周年原水爆禁止世界大会の開催、四国電力伊方原発再稼働抗議の座り込み行動、世界人権宣言の実現を求める県実行委員会総会・学習会の開催報告などを行った後、協議事項として、①平和運動センター第22回定期総会を10月24日(月)に開催する。②安保関連法案強行採決1年を迎える9月19日、街頭行動を実施する。③部落解放・人権確立を求める県民集会(9月25日)の参加体制。④「アジア・アフリカ支援米」稲刈りを9月24日に実施する等を確認しました。

また、幹事会終了後、「金剛山歌劇団広島公演」第1回実行委員会を開催し広島公演の成功に向けて、広告掲載やチケット購入などに取り組むこととしましたので、広島朝鮮初中高級学校の連帯・支援のため、ご協力をお願いいたします。



〔戦争法廃止！8・19街頭行動〕

戦争法廃止！安倍政権退陣！8・19行動

＝9月は戦争法強行採決から1年＝

平和運動センターや県原水禁が参加する「戦争をさせない1000人委員会」は、昨年9月19日の「戦争法」強行採決以来、戦争法廃止を訴える行動として、毎月19日に街頭行動(「19日行動」)を継続して取り組んでいます。

8月の19日行動は、8月19日に八丁堀・福屋前において30人が参加して「9条守れ、戦争法の廃止、発動を許すな」とチラシ配布、街頭宣伝活動を行いました。

9月の街頭行動は、強行採決からちょうど1年となる9月19日、14時から広島市・本通り電停「青山前」で街頭行動を行いますので、ご参加をいただきますようご案内いたします。



地区労だより【府中地区労組会議】

＝非核・平和を求めて粘り強く運動を継続していく＝

平和民主主義府中地区労働組合会議は、府中市で非核・平和運動に関する運動を中心に取り組みを進めています。今年是非核・平和をめぐる国内外で大きな動きがありました。一つは、5月27日のオバマ大統領の広島訪問です。現職のアメリカ大統領として初めて被爆地広島を訪問したことは評価に値すると思います。しかし、大統領就任時の核軍縮への期待は大きく裏切られ、むしろ現状肯定の姿勢のままその任期を終えようとしています。



もう一つは、7月10日の参議院選挙で国会における改憲勢力が2/3以上の議席を占めたことです。野党共闘も具体的な成果を出せず残念な結果となりました。北朝鮮のミサイル発射実験等でアメリカの核兵器の傘の下での安全保障に対してやむを得ないと思う人が多いのではないかと思います。しかし、人類全体を滅亡出来る量の核兵器が現に存在し、その不安定なバランスの中で成り立つ小康状態を考えると、理想に過ぎないといった批判がいくらあっても、核兵器の削減を実現することは焦眉の急だと言えます。

府中地区では、核実験抗議等の座り込みを継続して行っています。また、人数は少ないながらも「平和行進」の一翼を福山地区と尾道地区の支援を受けながら担っています。今年も連合府中地協と共催で「平和学習会」を開催しました。講演は「福島原発の現状」でした。引き続き、厳しい情勢が続きますが、非核平和を求めて粘り強く運動を続けていきます。（府中地区労組会議事務局長 佐野弘之）

「被爆71周年原水爆禁止世界大会」開催

＝日本政府の危険な動きを許さず世界に核廃絶を広げよう＝



被爆71周年原水爆禁止世界大会は、「核も戦争もない平和な21世紀に！ くり返す原発震災！ めざそう！ 脱原発社会」をメインスローガンに7月30日の福島大会をスタートに8月4～6日に広島大会、7～9日に長崎大会と開催されました。

大会では、国際的に進む「核兵器禁止条約」の動きに消極的な日本政府の姿勢を転換させ、核兵器廃絶への道筋を早急につくりあげようと提起されるなど核兵器廃絶や脱原発、被爆者支援などについて議論が交わされました。

広島大会は、全国から3,000人が参加。オープニングに竹内ふみのさんの二胡の演奏で始まり、高校生1万人署名活動の経験がある石原あかりさんの司会で開会総会が進行されました。主催者あいさつで川野浩一大会実行委員長（原水禁議長）は、オバマ大統領が5月に現役米大統領として初めて広島を訪れ演説した意義に触れ、「空から死が舞

い降りた」という言葉からはあの日の広島のおいがない。私が生きている間には核廃絶は実現しないと締めくくったことを批判しました。また、安倍首相の下、日本の政府が核廃絶・核禁止に反する動きを強めていることの危険性を訴えました。

被爆者からの訴えでは、8歳の時に被爆し戦争孤児となった広島県被団協の高品健二さんが体験を語りました。また、毎年、国連欧州本部を訪ねて核廃絶を訴えている高校生平和大使の活動について、第19代大使となった岡田美優さん（広島県立広島高校1年）、吉田菜々子さん（ノートルダム清心高校2年）、伊藤美波さん（広島市立舟入高校2年）が、それぞれの思いを語り、ヒロシマの被爆者の声や平和を世界に伝え発信していくことを誓いました。

閉会あいさつは、広島県実行委員会の秋葉忠利さんが「世論の力で核兵器も原発もなくせる」と呼びかけました。5日は分科会、ひろば・フィールドワークや国際会議、6日は、まとめ集会が行われ、「ヒロシマアピール」を参加者全員で採択し、長崎大会に引き継がれました。

なお、開会総会時にご協力いただきました高校生平和大使派遣支援カンパについては、452,693円のカンパをいただきました。ご協力ありがとうございました。

7日から開かれた原水禁世界大会・長崎大会には、広島県から27人が参加。長崎ブリックホールでの開会総会、分科会やひろば、原爆慰霊碑墓参、閉会総会、非核平和行進、そして連合平和ナガサキ集会に参加して、長崎での被爆の実相を学ぶことができました。

今大会のまとめで原水禁の藤本泰成事務局長は、『私たちは、原水禁結成以来「核と人類は共存できない」「核絶対否定」を訴えてきた。「核も戦争もない21世紀」、憲法の平和主義を実現するために、安倍政権が進める「命の尊厳」をないがしろにし、戦争への道にひた走る動きに断固反対していこう』と訴えました。

広島県実行委員会は、非核・平和行進から原水禁広島大会、そして長崎大会への参加など構成組織・団体、原水禁会員、地区労組会議（センター）の支援のもとで被爆71周年原水禁大会を終了することができました。猛暑の中、大会の成功に向けご尽力いただきましたみなさんに感謝いたします。



ヒロシマアピール

1945年8月6日午前8時15分、広島に投下された原子爆弾は、強烈な「熱線」、「爆風」、「放射線」のもと、その年の内に14万人の生命を奪い去りました。あの日から71年、「核戦争起こすな、核兵器なくせ」「ふたたび被爆者をつくるな」と、被爆者は声の出るかぎり訴え続けてきました。被爆者は高齢化し、残された時間で、戦争、被爆を知らない世代との連携によって体験の継承、核廃絶に向けた運動を展開しています。今、私たちは被爆者たちが訴え続けているその声を「継承」していく責務があります。

世界には、未だ約15,400発の核弾頭が存在しています。昨年のNPT再検討会議においては、合意文書を採択できませんでしたが、核兵器を禁止する法的措置を求める「人道性の誓約」への賛同は107カ国に広がりました。このことは、国連における、核兵器を禁止する法的文書について実質的に審議する「公的作業部会」の設置につながり、今年2月から審議が始まっています。日本政府に、唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶へ向けた議論をリードしていく責任を認識させなければなりません。

5月27日、バラク・オバマ米大統領は現職大統領として初めて広島市を訪れ、平和記念公園で原爆慰霊碑に献花し、広島・長崎を含む第二次世界大戦のすべての犠牲者に哀悼の意を示すスピーチを行いました。「未来において広島と長崎は、核戦争の夜明けではなく、私たちの道義的な目覚めの地として知られることでしょう」「平和的な協力をしていくことが重要です。暴力的な競争をするべきではありません」と世界に訴えました。私たちは、投下の判断の是非を問うこと以上に、投下によって引き起こされた現実を真摯に受け止めて、米国をはじめすべての核保有国が「核兵器の非人道性」を理解し、核廃絶に向かう一歩を踏み出すことを求めます。

安倍政権が進める原子力政策では、福島原発事故の反省もなく、国民世論の6割以上が脱原発を求めているにもかかわらず、原発推進政策を打ち出し、強引に進めています。また、破綻している核燃料サイクル計画にもかかわらず、大量のプルトニウムを保有しています。プルトニウムは、核兵器の原材料となることから周辺諸国に脅威を与え、東北アジア非核地帯化の実現に大きな障害となっています。プルトニウム利用政策は、核兵器問題と結びついており、東北アジアの平和と安定に向け即座に止めさせなければなりません。

原子力規制委員会の「新規規制基準」により川内、高浜、伊方原発を審査合格として、すでに川内原発は再稼働してしまいました。大会直後の12日には、伊方原発の再稼働が行われようとしています。一方で、高浜原発は、大津地裁から新基準に適合しても「安全性は確保できない」として再稼働の差し止めを認めました。また、「脱原発」を掲げた新人の三反園訓氏が鹿児島県知事選に当選する等、反原発の動きが前進してきています。私たちは、原発の再稼働を許さず、全ての原発の廃炉、再生可能エネルギーへの転換を求めます。

東日本大震災による福島第一原発の事故から5年が経過しますが、現在も約9万人の福島県民が未だに避難生活を余儀なくされ、長期に渡る避難生活は、暮らしや健康、就労等多くの不安と負担を与え続けています。一方で安倍政権は、年間被ばく量20mSv以下は安全として帰還を促進し、避難者への慰謝料や商工業者への損害賠償を終了させようとしています。全てをなかったものにしようとする姿勢は許せません。国の責任「国家補償」の精神に基づく健康と生活の保障を求めていく取り組みを強化しましょう。

安倍政権は、違憲の安全保障関連法制を国会での数の力で成立させ、戦争ができる国にしようとしています。戦争により何が起こったのか、被爆地ヒロシマで体験した私たちは、9条を守り憲法を守り一切の戦争を否定し、二度と悲劇が繰り返されないよう訴え行動していきましょう。

これまで私たちは原水禁を結成し、51年にわたり一貫して「核と人類は共存できない」、「核絶対否定」を訴え続け、核のない社会・世界をめざして取り組んできました。現在、暴走し続ける安倍政権の戦争への道、原発再稼働への道に対抗していくことが喫緊の課題であり、将来ある子どもたちに核も戦争もない平和な社会を届ける取り組みを全力で進めます。

- すべての核兵器をなくし、核と戦争のない21世紀をつくろう！
- 核兵器禁止条約を実現しよう！
- 東北アジアの非核兵器地帯条約を実現しよう！
- フクシマを繰り返すことなく、全ての原発の再稼働に反対し脱原発社会をめざそう！
- 再処理・もんじゅを止め、核燃料サイクルをやめさせよう！
- 原発事故の被災者と被曝労働者の健康と命と生活の保障を政府に強く求めよう！
- 非核三原則の法制化を実現しよう！
- 平和憲法を守り、憲法違反の安全保障関連法の廃止をめざそう！
- ヒバクシャ援護施策の強化ですべてのヒバクシャ支援を実現しよう！

ノー モア ヒロシマ、ノー モア ナガサキ、ノー モア フクシマ、ノー モア ヒバクシャ

2016年8月6日

被爆71周年原水爆禁止世界大会・広島大会

四国電力「伊方原発3号機再稼働」抗議の座り込み(8月12日) ＝福島を繰り返すな！ 原発再稼働ゆるさん！＝

8月12日、四国電力は、多くの県民が事故への不安を抱く中で、伊方原発3号機（愛媛県）の再稼働を強行しました。平和運動センター・広島県原水禁は、危険な再稼働に強く抗議し、四国電力佐伯勇人社長に抗議文を送付するとともに、平和公園の原爆慰霊碑前で約50人が参加して再稼働抗議の声を上げました。



座り込み行動にあたり、県原水禁金子哲夫代表委員は、「福島原発事故から5年たった今も、被災地に帰れない、帰ることのできない避難者が大勢いる。そうした人たちが居ることに思いをはせなければならない。福島の過酷事故、悲劇を繰り返してはならない。そのためにも原発の再稼働を許してはならない」と訴えました。

四国電力株式会社

取締役社長 佐伯 勇人 様

伊方原発3号機の再稼働に抗議する

四国電力は、本日12日、民意を無視して、伊方原発3号機を起動し再稼働させました。伊方原発付近には、国内最大規模の活断層「中央構造線断層帯」が走り、地震や原発の耐震性、避難計画など、様々な問題を残したままの再稼働の強行と言わざるを得ません。

5年前の東日本大震災・福島原発事故を経験した私たちは、「安全に絶対はない。原発震災を再び繰り返してはならない」と訴えてきました。また、今年4月に発生した熊本地震に際しても、原子力の安全神話を繰り返す政府や電力会社の姿勢は、住民の命や不安を置き去りにするものであり、決して許されるものではありません。

被爆71年の今夏、私たちは、『核も戦争もない平和な21世紀に！くり返すな原発震災！めざそう！脱原発社会！』をメインスローガンに、原水爆禁止世界大会・広島大会を開催し、核廃絶はもとより「命」の対極で暴走し続ける安倍政権の「戦争への道」、「原発再稼働への道」に対抗していくことを確認してきました。

私たちは、全国各地の原発を再稼働させないため、多くの市民とともに、全力で取り組みを進めていきます。

以 上

2016年8月12日

「伊方原発再稼働緊急抗議行動」参加者一同
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）

広島市西区横川新町7-22 自治労会館1階

(TEL: 082-503-5855 fax: 082-294-4555)

「核兵器先制不使用宣言」について申入れを行う(8月18日)

オバマ米大統領が「核兵器不使用宣言」を検討していることについて、安倍首相が反対の意思表示をしたことに対して、広島県原水禁は、8月18日、安倍晋三総理大臣（「核兵器先制不使用宣言」反対の意思表示を撤回して、積極的にこの宣言実現のため努力すること。アメリカ以外の核保有国に、既にこの宣言をしている中国を除いて、同調するよう働きかけること。）と岸田文雄外務大臣（安倍総理大臣の「核兵器先制不使用宣言」反対の意思表示について、撤回するよう進言すること。広島選出の国会議員として、また広島の代弁も職務の内である外務大臣として、安倍内閣が「核兵器先制不使用宣言」を推進しようとしない場合には、ヒロシマ並びにヒバクシャの願望を無視することは許されないという立場から、抗議の意思を表明すること。）に撤回要請の申し入れを送付しました。

世界人権宣言県実行委員会が総会・学習会を開く(8月20日)

＝実行委員長に伊藤泰郎さんを選出＝

世界人権宣言の実現を求める広島県実行委員会は、8月20日、三原市人権文化センターにおいて2016年度総会と学習会を開催しました。総会は、活動報告、決算報告そして2016年度活動方針を承認。役員体制では、新委員長に沖和史さんから伊藤泰郎さん（広島国際学院大学教授）を選出しました。

その後の学習会では、元広島平和教育研究所所長の高橋晋作さんから「私の戦争体験と戦時教育」の講演を受け、「いつか来た道」にならないよう、反戦・平和・人権確立の取り組みを強化していくことを確認しました。



新聞に見る「ヒロシマ」(7/30~8/25)		
見出しから	日付	新聞
作業部会支持 国連加盟国へ 平和首長会議が書簡	7.30	朝日
原爆文学と検閲 語る 詩人・堀場さん講演	7.31	朝日
被爆建造物4割不具合 工事費負担が課題	8.2	中国
原爆罹災者 名簿を公開	8.2	中国
胎内被爆 伝えないと 孤児体験「思い複雑」	8.3	朝日
上関原発予定地埋め立て 知事許可の波紋	8.4	中国
「あの日」記憶継ぐ きょう「原爆の日」	8.6	朝日
核なき世界へ連帯を 広島71年 世界に刻む 原爆の日	8.7	中国
オバマ氏の折り鶴 来月以降も展示	8.9	中国
被爆前の遺構 今秋公開 資料館敷地を発掘	8.10	中国
「ヒバクシャ国際署名」ウェブから署名始まる	8.10	朝日
米核政策見直し協力を 広島・長崎市長 首相らに書簡	8.11	中国
伊方原発再稼働に抗議 慰霊碑前	8.13	中国
原爆文学 世界に届け 中区で中学生ら朗読	8.15	中国
「核の傘」依存鮮明 首相、先制不使用に反対	8.17	中国
高校生平和大使「核なき世界」訴え	8.18	朝日
島 元院長の遺影登録 広島祈念館	8.18	中国
アニメ集い平和発信 広島国際フェスタ開幕	8.19	中国
核禁止条約交渉入り 報告書大筋合意	8.20	中国
原爆詩朗読 私の声で 平和祈念館で高校生が体験	8.20	朝日
広島の被爆者 廃絶に期待 難航懸念も	8.21	中国
本音で議論「広島宣言」ひろしまジュニア国際フォーラム	8.24	朝日
上関埋め立て 中電回答「慎重に対応」	8.24	中国
オバマ氏の鶴 展示延長 来年1月まで	8.25	中国
オバマ氏折り鶴 1月末まで展示	8.25	朝日

【 ご 案 内 】

■ 「ストップ！戦争法」 9月街頭行動

◇開催日 9月19日（月・休日） 14時～15時

◇場 所 広島市本通り電停「青山前」

■ 9. 22 「さようなら原発 さようなら戦争」大集会

◇日 時 9月22日（木・休日） 13時30分～16時

◇会 場 東京・代々木公園B地区、けやき並木

◇内 容 発言者（アーサービナード、木内みどり、福島から など）
デモ行進（渋谷方面コース／原宿・青山コース）

■ 「アジア・アフリカ支援米」稲刈り

◇日 時 9月24日（土） 10時30分～13時

◇場 所 安芸高田市向原町保垣

◇内 容 稲刈りと昼食会

■ 2016 部落解放・人権政策の確立を求める第47回広島県民集会

◇日 時 9月25日（日） 10時～16時30分

◇場 所 福山市人権交流センター

◇内 容 全体集会・記念講演

「日本は今—平和と人権の視点から～ドイツと比較しながら～」

講師：木戸衛一さん（大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授）

分科会（各地の取り組みを交流）

第1/差別の実態と解放運動 第2/社会啓発

第3/解放教育運動 第4/解放の思想と宗教

第5/平和・人権と連帯